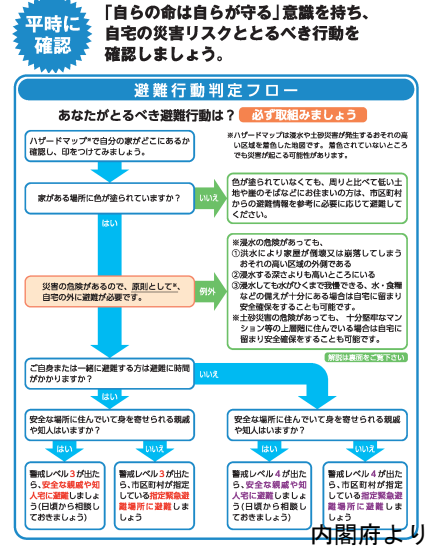


感染症蔓延下における大規模氾濫からの避難について 京都府域の首長が集結し、意見交換を実施！

【令和2年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議（京都府域）を開催】



台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう



避難対策に関する意見交換

◆10市町の首長による感染症蔓延下における市町の避難体制の報告、ならびに根本教授を交えて避難対策について意見交換を行いました。

○新型コロナウイルス感染症蔓延下における各市町の避難体制（主な取り組み）

- ・宇治市：資機材準備、住民への広報、感染症対策の周知啓発、避難所開設運営の訓練。
- ・長岡京市：避難所運営マニュアル作成、タクシー事業者と連携した体調不良者等搬送、車中泊避難場所の確保。
- ・八幡市：避難所開設等の考え方、避難所模擬開設による検証、バス事業者との避難誘導の応援協定締結。
- ・京田辺市：住民への広報、大学の避難所指定、体調不良者等の分離と保健部局との連携。
- ・木津川市：住民への広報、車中泊避難場所の確保、避難所開設運営訓練とマニュアル検証。
- ・大山崎町：資機材準備、住民への広報、全正規職員を対象とした感染症対策説明会。
- ・久御山町：資機材準備、住民への広報、対面式による地域自治会への感染症対策説明。
- ・笠置町：資機材準備、電源確保対策、自主避難の推奨、体調不良者等の分離。食料品等の備蓄確保。
- ・和束町：資機材準備、体調不良者等の分離と保健部局との連携、感染症対策の周知啓発。
- ・精華町：資機材準備、体調不良者等の分離と保健部局との連携、自主防災会とのマニュアル作成。

○意見交換

- ・各地域特性に応じた対策の実施が重要。
- ・在宅避難準備（備蓄等）の啓発により、分散避難の実現性が高まる。
- ・避難所が満員になったときの案内が課題。
- ・コロナ下においても、できる訓練の実施が必要。
- ・感染拡大抑制には保健部局との連携が重要。

新型コロナウイルス感染症蔓延下における避難対策について

◆日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授から、自ら経験された被災地の状況や実験・訓練を踏まえ、避難所運営の留意点について講演頂きました。

○避難所運営の主な留意点

- ・避難所や車中泊での災害関連疾患の防止。
- ・TKB（トイレ、キッチン、ベッド）の整備。
- ・各段階での準備・訓練・検証。
- ・運営がパンクしないための優先順位設定、協定活用、人材投入。



淀川水害協の概要説明と今年度の重点的な取組の確認

◆協議会の趣旨や活動内容を共有し、近年の水害による被災状況を踏まえ、本年度は逃げ遅れゼロにむけて、要配慮者の避難対応を重点的に取り組むことを確認しました。

◆開催概要

日時：令和2年7月17日（金）10：00～11：30
 場所：長岡京市中央生涯学習センター メインホール
 参加者：26機関から59名が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 淀川河川事務所 調査課
 〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861